

# 森林やまがた

No. 58

2002 1月



第53回全国植樹祭実施計画式典会場イメージ図



第53回全国植樹祭

感じていますか 森があるしあわせ

## 目次

第53回全国植樹祭実施計画	海外技術研修報告
式典会場イメージ図…………… 1	山形県の美しい森林に学ぶ… 8
全国植樹祭の成功と森林関連	日本にきて感じたこと………… 9
産業発展への取組み…………… 2	現地ルポ
地域森林計画の樹立について… 3	沼山治山工事完成する…………10
第53回全国植樹祭実施計画	普及情報
策定される…………… 4	次代の森林を受け継ぐ人達へ…11
一年間の活動で一番心に残ったこと… 6	山形県の名水・湧水……………12
アマチュアインストラクターとして… 7	山形県の古木・名木……………12
	木材市況……………14

# 全国植樹祭の成功と 森林関連産業発展への取組み



山形県森林協会  
会長理事 松田 堯

新年明けまして

おめでとうございます

内外共に多事多難な時代にな  
っておりますが、明るい展望の  
開かれる年でありますよう祈念  
し、そのための努力を誓い合  
いたいと存じます。

申し上げるまでもなく、わが  
国の森林関連産業は、長く暗い  
トンネルに入ったままで、何時  
までも出口が見えません。森林  
に恵まれその恩恵をこれ程享受  
している国はないのですが、そ

れを支える林業等は衰退し、ま  
た、山村の機能が低下しており、  
このまま推移すれば国土の荒廃  
化等国の基盤の崩壊が懸念され  
るところです。

また、国際的には、地球温暖  
化の防止が人類生存のための緊  
要の課題となっており、炭酸ガ  
スの吸収源としての森林の役割  
が重視され、森林国・先進国と  
しての協力が求められておりま  
す。

昨年、森林・林業基本法が制  
定され、森林の多面的機能の持  
続的発揮を狙いとして、国民全  
体で森林を守り活かしていくこ  
とが明示されました。政策実現

のための今後の具体的な施策の  
推進が待たれるところですが、  
基本法では、国、自治体、森林  
所有者等それぞれの責務が示さ  
れており、これからはその方向  
に沿って私共の運動を展開して  
いくことが必要であります。現

在抱えている問題の性格は、課  
題の一つひとつが複雑な問題群  
から構成されており、産・官・  
学の協力、あるいは川上から川  
下までの一体化等による一層の  
創意工夫と努力が求められるも  
のと考えます。

近年、本県の森林関連産業  
は、間伐材の河川工事用資材  
への活用、また、その活用に  
結びつけた間伐方式のそれぞれ  
について、全国コンクールで最  
優秀賞に輝いており、また、里  
山オーナー制度、県民の森にお  
けるインタープリター制度等が  
優良事例として林業白書に紹介

される等、苦境脱出への積極的  
な挑戦が目立ち、心強く喜ばし  
い限りです。県ご当局のご指導  
に感謝申し上げますと共に、関係  
の皆様のご努力に敬意を表しま  
す。

さて、「感じていますか、森が  
あるしあわせ」のテーマで開催  
される第53回全国植樹祭がいよ  
いよ間近になりました。「ゆとり  
都山形」を世界に発信すると同  
時に、二十一世紀における県民  
挙つての緑豊かな県土造りの態  
勢を整備するうえで、これ以上  
の機会はありません。魂の入つ  
た心温まる全国植樹祭の成功に  
向けて、会員が一体となつて頑  
張りましょう。

今年が本県の森林関連産業の  
発展の契機となることを願うと  
共に、会員の皆様のご多幸をお  
祈り申し上げます、年頭のご挨拶と  
いたします。

# 地域森林計画の樹立について

## ～The establishment of regional forest plan～

### ◆地域森林計画って何？

地域森林計画とは、森林法第五條の規定により、都道府県知

事が全国森林計画に即し、森林計画区域内の民有林について五年ごとにたてる十年間の計画です。このように書くとは難しく聞

こえるかもしれませんが、各都道府県知事が自分の県の森林を今後どのような森林に育てていきたいか、どのような森林にな

ることが有意義であるかを考えるための基準や目標をたてるものです。また、この地域森林

計画がたてられることで、その対象民有林が森林法の規制を受けることとなります。このため、無断伐採や無断開発ができなくなり、水源かん養や災害防止と

いう森林の公益的機能が維持され、国土の保全が図られます。

### ◆大きな変化

昨年七月に森林法が改正され、この地域森林計画が大きく変わるようになりました。これは、緑のダムとしての水源かん養機能、または森林浴などのレクリエーション機能等、森林の持つ

公益的機能に対する国民のニーズに的確に 대응するためです。このため、地域森林計画では、その公益的機能別施業森林（「水土保全林」・「森林と人との共生林」

の二つで、それ以外は公益的機能別施業森林区域外森林「資源の循環利用林」になります）に

関する事項が追加され、その区域の基準及び施業方法の指針が

記載されます。そして、地域森林計画に適合した形で作成される市町村森林整備計画で各市町村内の民有林を公益的機能別施業森林とそれ以外に区分（これを通称「ゾーニング」と呼んでいます）します。

### ◆森林の区分（ゾーニング）

水源かん養・山地災害防止機能を目的とし、森林土壌保全の観点から、立木材積を一定量以上維持するための整備を推進する森林を、水土保全林といいます。生活環境・保健機能を目的とし、生態系の維持、景観の保全の観点から、樹種の多様性を増進することを基本とした整備を推進する森林を、森林と人との共生林といいます。また、木材生産機能を目的とし、森林資源の循環的な利用を促進する観点から、積極的に経済林とするための森林整備や基盤整備を推

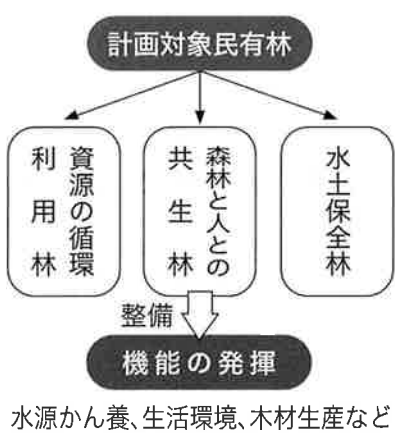
進する森林を、資源の循環利用林といいます。

### ◆今後の森林の方向性

今後このゾーニングに従い、その目的とする機能を発揮すべく、森林整備やそのための事業が展開されることになります。

その基準を示す今回の地域森林計画書は、今後県内の森林が進む方向性を示唆する「Forest guide book」ともいえるでしょう。〔県森林課〕

### ・ゾーニングのイメージ





第3回実行委員会総会（オーヌマホテル）

# 第53回全国植樹祭 実施計画策定される

第53回全国植樹祭の山形県実行委員会第三回総会が、平成十三年十二月十日に開催され、第53回全国植樹祭実施計画、平成十四年度の事業計画及び予算が承認されました。

実施計画の主な内容は次のとおりです。

## 式典演出計画

式典は、プロローグ、記念式典及びエピローグの三部で構成されます。（内容下表）

なお、NHKでは、記念式典のお手植え・お手播きを中心とする県内中継放送を予定しています。

## 植樹計画

記念植樹は、式典会場及びその周辺に一、六四haの植樹地を設け、天皇陛下には、本県に広く分布するブナ、トチノキ、カツラを、皇后陛下には里山に春を告げるオオヤマザクラ、ネムノキ、ヤマボウシをお植えいただき、招待者には、里山に広く分布し、人々の暮らしと関わり

## 第53回全国植樹祭式典プログラム

時刻	プログラム名
<b>プロローグ (40分)</b>	
10:30	オープニング
	太鼓組曲：やまがたの大地の響き（山形県太鼓連盟）
	森のくに巨木物語（映像作品）
	里山のふるさとのメドレー（児童合唱隊、式典合唱隊、式典吹奏楽隊）
	里山から始まる森林づくり（第53回全国植樹祭紹介）
進行概要のご案内、進行上のお願い	
<b>記念式典 (1時間15分)</b>	
11:10	天皇皇后両陛下下御到着、御徒歩、御着席
	開会のことば
	三旗掲揚
	主催者あいさつ
	天皇陛下のおことば
	表彰
	記念切手の贈呈
	苗木の贈呈
	天皇皇后両陛下お手植え、お手播き／参加者代表記念植樹、記念播種
	母なる川・最上川賛歌
	創作演技「感じていますか 森があるしあわせ」
	大会宣言
	リレーセレモニー
	閉会のことば
	天皇皇后両陛下下御退席、御徒歩、御出発
<b>エピローグ (35分)</b>	
12:25	やまがたのまつり（新庄まつり、村山徳内ばやし、花笠踊り）
	フィナーレ
13:00	終了

## 会場設営計画

の深い樹種の中から選定した二十四種類の樹種を植樹していた。式典会場の正面には、山形県の山並と山形県章をイメージした天皇皇后両陛下のお野立所、これを対面する一般招待者席には平長椅子を配置するとともに、会場にはさくらんぼやベニバナ



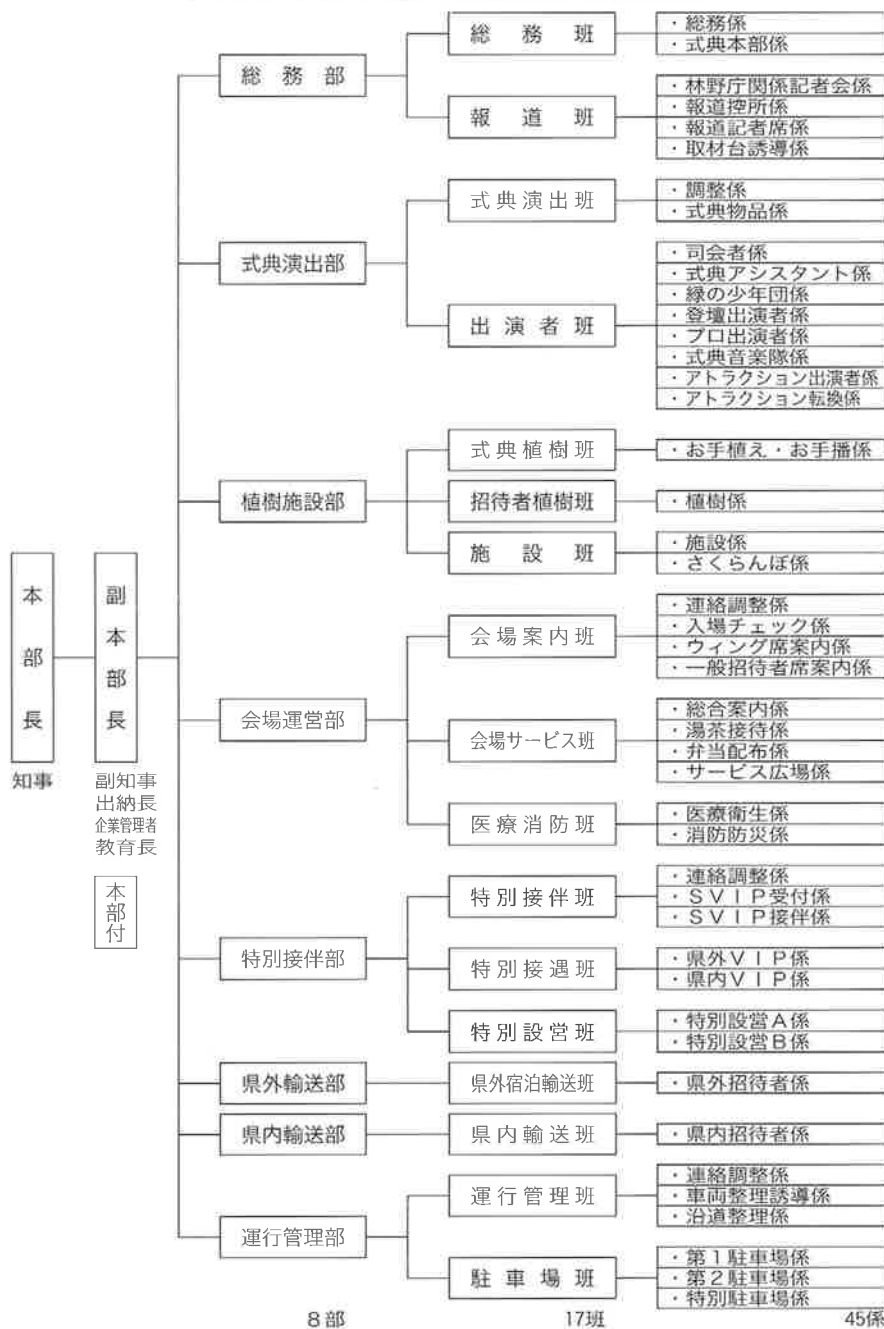
森があるしあわせ  
感じていますか



などの鉢植えを配置し、山形らしさを強く印象づけるよう計画しています。なお、これらの会場づくりには、県産の間伐材を大いに活用していきます。

サービス広場においては、湯茶のサービス、そば・いも煮など山形の食べ物や特産物の販売、笹野一刀彫としな織の製作実演コーナー、最上地域の伝統芸能を紹介するミニステージなどを設け、温かみのある休憩・参加・交流の場を提供できるよう計画しています。さらに、本県が全国に誇るさくらんぼのもぎ取りを県外招待者に体験していただく、さくらんぼ広場も計画しています。

第53回全国植樹第山形県実施本部体制図



実施本部を定めるため、このたび、全庁的な組織として山形県実施本部が設立されました。

実施本部体制の骨格固まる

実施本部は、左図のとおり八部十七班四十五係で組織され、従事者規模は、県職員が約七五〇人、ボランティア等の協力員が約七五〇人の併せて約一五〇〇人体制となります。

「全国植樹祭推進事務局」

実施本部は、左図のとおり八部十七班四十五係で組織され、従事者規模は、県職員が約七五〇人、ボランティア等の協力員が約七五〇人の併せて約一五〇〇人体制となります。

「全国植樹祭推進事務局」

今後は、各班ごとの研修やリハーサルを開催するなど、招待者をはじめとした全ての関係者が、安全で快適に参加できるように万全の準備を進めていきます。

活動報告  
少年団



一年間の活動で  
一番心に残ったこと

鶴岡市朝陽第二小学校  
六年 佐々木 直 紀

ぼくが緑の少年団に入った理由は、友だちが入ると言ったからです。それでぼくは入ることにしました。一年間の活動で一番心に残ったことは、一番最初にやった活動の交流会です。交流会ではキャンプをやりました。その中で楽しかったことは、川遊びです。ぼくはみんなといっしょにうきわで遊びました。それと、カヌーでも遊びました。カヌーの時間がくると、すぐいちもくさんに取りにみんなは行きました。カヌーに乗ったらすぐに友だちとレースをしたり、すもうのようにぶつかりあって落ちた方が負けというゲームをやりました。



みんなで水源の森に植樹

交流会の中で一番つらかったことは、グリーンアドベンチャーです。グリーンアドベンチャーの中でも特につらかったことは山登りです。グリーンアドベンチャーは、山を上りながらク

イズに答えて頂上に行くゲームです。頂上へついたときは、もう歩けませんでした。でも、頂上から見た風景は、遠くの山の木まで、どこまでも見えるかのようにきれいでした。頂上の問題はこうでした。「この山の上にはなにか飛んでいるでしょうか」という問題でした。ぼくは、「つばめ」と書きました。ぼくがこの活動で一番がんばったことは野外炊飯の皿洗いです。少し気持ち悪かったけどがんばりました。やっと終わった時は手がヌルヌルしていて気持ち悪かったです。手を洗ったらきれいになって、すつきりしました。夜はまくら投げをして少し楽しみました。このキャンプで学んだことはとても多かったです。特に、グリーンアドベンチャーの問題で



頂上で記念撮影

学びました。たとえば、木の葉にも針葉樹という針のような葉の木と、広葉樹というふつうの葉の木があることがわかりました。これからは、木は人の呼吸に必要な酸素を出してくれるというところがわかったので、自然を大切にしたいと思います。



アマチュア  
インストラクターとして  
森林インストラクター  
真室川町 八 鍬 重 一

森林インストラクターといっ  
ても同じライセンスを持つてい  
るというだけで、均一な品質が  
保証されている集団というわけ  
ではありません。三つのグルー  
プに大別できます。まず、林業  
や環境教育等の専門教育を受け  
たり、職業としているプロ。次  
に、専門教育を受けたことも、  
職業としての経験もないけれど、  
「好きこそものの上手なれ」経  
験的知識・技能でプロのレベル  
まで達しつつあるセミプロ。そ  
して、動機はなんであれ、確た  
る活動の目標や展望もなくライ  
センスを取得できてしまったア  
マチュア。

もので、野山を愛でたり、外遊  
びが好きというだけの人。たま  
たま書店で見つけた「森林イン  
ストラクター入門」というテキ  
ストに導かれてライセンス取得  
までいきついてしまったという  
のが正直なところ。野外活動系  
の得意分野なら問題はないので  
すが、林業体験や自然観察系の  
活動ともなると大汗をかかなく  
てはなりません。

例えば、晩秋に「子供と大人  
四十人を雑木林で遊ばせて」と  
依頼されたとします。まずは会  
場に向き、条件を調査しコン  
セプトを練ります。ねらいに沿  
ったアクティビティを図鑑や自  
然観察・ゲーム本などのネタ本、  
とりあえず、コンセプトを「樹  
木と親しむ」として、①まず森  
の精に扮しての登場でつかみ  
②ゲーム3つ程度でアイスブレ  
ーク ③メインゲームの「落ち  
葉カルタあそび」落ち葉をフイ  
ルムでカバーしてカード型にす  
る。カルタや、神経衰弱ゲーム  
で、自然や樹木になじむ感覚を  
共有する ④最後に森の精の扮  
装に戻り、絵本の「葉っぱのフ  
レディ」を読み聞かせる……と  
いうようなアクティビティを組  
み合わせてプログラムとする。  
更に行きつ戻りつしながら練り  
上げていきます。進行用紙は当  
日までには書き込みだらけとな  
ってしまいます。

パクリ用本や資料に埋もれなが  
らのプランニング作業となりま  
す。知識や技術、経験の蓄積が  
乏しいのですからしよすがあり  
ません。



ブナ林でネイチャーゲーム

それでも参加者があらかじめ  
確保されている場合は手だてが  
不要ですが、主催者として参加  
者募集をしなければならぬと  
きはさらに汗をかくことになり  
ます。  
自称セミプロに昇格するまで  
には遙か遠い道のりですが、「自  
然を愛でるところ」をより多く  
の人に伝えるため、よりたくさ  
んの汗をかこうと考えています。

海外技術研修のため昨年七月から、イリアン・ジャヤ州からパウル氏が森林課で、ブータン王国からダワ氏が森林研究研修センターで研修をしています。二月上旬に帰国しますが、皆さんも彼らと国際交流を深めて下さい。

〔森林課 折目〕



## 山形県の美しい森林に学ぶ

インドネシア共和国・イリアン・ジャヤ州  
パウル・リカルド・ジェング

私は、パウル・リカルド・ジェングです。二十四才です。山形県と姉妹州であるインドネシア共和国のイリアン・ジャヤ州から来ました。イリアン・ジャヤ州のジャヤプラ農業局で公務員として働いていました。仕事の内容は、GIS（地図情報システム）やGPS（地球測位システム）を使って森林地図をつくっていました。

もすてきな山形県で勉強することができました。イリアン・ジャヤ州では、GISの技術はあまりすんでいませんので、日本でのGISの勉強がとてもためになりました。四月に日本に来て、まず日本語の勉強をしました。そして、七月から森林課にお世話になりました。森林課のみなさんにはパーティを開いていただき、英語でのスピーチで歓迎をうけました。みんなと話をしながら、日本語の方も少

しずつ話せるようになりました。森林課では、GIS（株式会社パスコ仙台支店）のほか、林道測量設計（山形県林業コンサツタンツで）、緑化樹の生産技術（みどり推進機構）なども勉強しました。それから、まなびピア山形二〇〇一年、林業まつり、山形県育樹祭などいろんなイベントにも参加しました。GIS以外はどれもみな始めてのこととても楽しく勉強できました。特に、林道の測量設計では、盛土と切土の計算がとても難しく、時間もかかりました。イリアン・ジャヤ州では林道をつくることは便利だとは思いますが、動物も守らなければならないので、たいへん難しいことになっています。

それから、育樹祭はたいへん良いことだと思いました。子供たちがみんな集まって、木を植えていたのでびっくりしました。みんなで木を育てることは大切なことだと思います。イリアン・ジャヤ州では、植樹祭とか育樹祭はありません。国に帰ったら、ぜひやってみたいと思います。

それぞれの国の森林の姿は、そこに住む国民みんなの思いの現れであり、国民みんながつくっていくものだと思います。

森林課のみなさんはじめ、たいへんお世話になり、ありがとうございました。



森林課で空中写真の勉強





## 日本にきて感じたこと

ブータン王国  
ダワ・ペンジヨー

私はダワです。ブータンでは「国立きのこセンター」で働いています。今年の四月日本に来て、六月から森林研究研修センター特用林産部で「きのこ」について勉強をしています。日本

に来る前は、日本人の生活はアメリカと同じだと思っていました。でも山形に来てみると日本的な生活をしているので驚きました。

あるとき私は山形で友達と「残業」のことについて話しました。彼は夜遅くまで仕事をし、家にかえると「ただいま」「おかえりなさい」の挨拶ができないと言っていました。たぶん家族と一緒に食事をしたり、子

供と話をすることもあまりできないだろうと思いました。いつも奥さんや子供達との会話がなければ幸せな生活ができるでしょうか。

ブータンでは晩ご飯は家族全員が一緒に過ごすとても大事な時です。ですから残業で夜遅く帰ることは減多ありません。もし晩ご飯が遅れたりすれば家族全員から嫌われます。仕事を終わって家に帰り、妻が食事の準備をしている間、子供と遊んだり、勉強を教えたりします。朝ご飯も家族全員と一緒に食べますが、晩ご飯は特に大切です。このとき家族でいろいろ話をします。

年寄りには子供達と昔話をするのを楽しみにしています。ブータンでは、両親と一緒に住むのは娘で、結婚する時にはお婿さんをももらいます。家や土地は娘がもらいます。そして皆んなで女の人を大事にします。家のこ



きのこの菌培養

とや地域の問題は、女の人達が決めます。

ところで、日本のお父さんはどうして夜遅くまで働くのでしょうか。「お金持ち」はステータスシンボルなのでしょう。でも友達には「自分の仕事なくても

すぐに帰ることはできない」と言っていました。それは周りの人達が残業しているからです。ブータンでは夜の残業は殆どしません。もし残業がある時は朝早くか休みの日にします。

私は仕事と家族は同じように大切だと思っています。ブータン国王は「ブータンではGDPを上げるのではなくGNH (Gross National Happiness) を上げるようにしたい」と言いました。いくらお金があっても幸せになるとは限りません。

国民が幸せになるには、まず家庭が幸せになることが大切です。仕事を一生懸命しながら、家族を大切に努力をすれば、自分も家族もそして全体も幸せになれると思います。

(注 原文は平仮名によるもので、両氏の了解を得て漢字にしています)

現地ルポ

着手から六年  
沼山治山工事完成する

平成八年四月の融雪期に、東根市大字泉郷元沢渡字沼山地区で大規模な山腹崩壊が発生し、流出土砂が周囲のスギ林を浸食しながら、丑居沢川を土石流となつて走行、林道牛沢丑居線と埋没させ、下流の上野台地区背後まで接近しました。その後の降雨によつては、満砂状態の砂防ダムを乗り越え、人家や人命に被害を及ぼすことが危惧され、東根市では、対策本部を設置、県は、即座に国に対し災害関連緊急治山事業を要望し採択を受けました。災害発生当初は、その荒涼とした惨状と泥濘化した流出土砂・倒伏した立木を目前にして、難工事が予想され誰もが不安を隠せませんでした。



完成した山腹工

流・支流には合計六基の治山ダム工、間伐材を利用した護岸工を整備、災害緩衝林として約二千本のスギ・ケヤキ等が植栽されました。また、治山ダム工の施工により堆砂敷となりその機能を失ってしまう林

道についても、附帯工としての付け替え工事が完成し、このほども、東根市に移管されました。現在は、災害発生当時の面影は全くなく、山腹・溪間とも安定した状態となり、溪流には、イワナが遊び、秋には、キノコ狩りの人たちが賑わう紅葉の美しいやまなみを呈し、いまは白い雪に包まれ東根市街を見下ろしています。  
〔村山総合支庁北村山森林整備課〕

関係者の地道な調査測量設計の積み上げにより、対策工が立てられ、平成九年度からは地区指定の地域防災対策総合治山事業により工事が進められました。高含水率の土砂を扱う排土工や融雪期ごとに発生する冠頭部クラックの切り直し、急峻かつ劣悪な足場での山腹工事、狭隘で土石流発生予知センターを設

置して行われる溪間工事、豪雪地帯という悪条件も重なり、時には翌年度への繰越が余儀なくされることもありましたが、しかし、数々の議論と試行錯誤が繰り返され、一マスひとマスを塗りつぶすように、着実に工事が行われた結果、平成十三年十月ついに完成に至りました。総事業費は、六億七千万円を費やし、発生源対策として、地下水排除工、法切工、土留工、水路工等が施工され、不安定土砂が厚く堆積する丑居沢川本



付け替えの完了した林道と溪間工

普及情報

次代の森林を受け継ぐ人達へ  
— 代替り所有者に薦める間伐について —

● 間伐の問題

山形県内には十二万ヘクタールの民有人工林があり、そのうち約四十八%が間伐を必要とする森林です。そして様々な理由により間伐実施が遅れています。森林の整備、林業の経営、どちらの意味でも間伐は必要です。私達が祖先から受け継いできた人工林は間伐を前提として植林されてきたからです。

● 間伐の技術

実際間伐には、選木、伐倒、木寄、集積、搬出などの作業種がありますが、ここでは間伐する木を選ぶ「選木」という技術について記述します。

人工林は古来から利用目的に応じた造成がなされてきました。

その管理方法である間伐も地域性や個人の経営目的によって様々なやり方があるのは当然です。ですから選木を最初に相談するのは「植えた人」ではないでしょうか。自分の父、祖父、地区の山を管理してきた人、近隣の林業士、指導林家、そして森林組合です。植林した時の目的をしっかりと踏まえて自分の森林マネージメントに取り組んでおきましょう。さて、一般的な選木方法としては、保育間伐の目安を定めた寺崎式やそれに伐採量の要素を加えた牛山式、また林分密度管理図を利用する方法などが上げられますが、いずれも実際に山で実践するには経験を積んだ知識が必要とされ、一朝一夕には

成りません。そこでもっと解りやすい方法として次のふたつを紹介します。

ひとつめは、長野県で山林塾を主宰する島崎洋路先生の提唱するやり方で、林の主伐時に残るであろう本数を樹種と地位級により推測しその本数分形質の良い木（残す木）に目印を巻き、その木を中心に間伐するというもので、目的木がはっきり見えるので素人でも森林の将来が容易に予測できます。



島崎先生から保残木マーク法を学ぶ  
—平成12年度Ag全体研修より—

ふたつめは、福井県の林務職

員である鋸谷茂氏が体系的にまとめ実際に普及している方法で、間伐をする林の優良林の胸高直径から間伐後に残る木の本数を決定し、形状比の高いものから間伐するというものです。

従来の保育間伐は悪い木を伐つていった結果良い木が残ることになります。残す木を見える状態にして作業をすると解りやすいのではないのでしょうか。

● まとめ

森林を植林した人はその所在や境界が解りますが、次代の方はそうでもないようです。

県では、年間三二〇〇ヘクタールの間伐を計画的に進めていきます。この時期に受け継いだ資産の整備を自ら計画されてはいませんか、先ずはご自分の、学校の、そして地域の山を見に行くことから始めましょう。

〔県森林課林業専門技術員〕



山形県の名水・湧水⑳

# 鏡清水

村山市鶴ヶ町

案内図



この清水は、前森・本城・最上と続く楯岡城414年に亘り、山頂の城の命水として使われ、或いは隠し泉とも考えられます。

うすい乳白色をしているのは楯山の凝灰岩から溶けだすものでまことに珍しく、姫や女房たちが鏡代りに泉に姿をうつし化粧したと言われており、これが「鏡清水」という地名の由来と思われます。  
(山形県森林協会)



山形県の名木・古木㉔

# 村上屋の 念珠のマツ

温海町鼠ヶ関

案内図



温海町鼠ヶ関の元旅館であった村上屋の裏庭にある臥龍型のクロマツである。枝はすべて葡萄幹の上方にだけ生じ、いずれもねじれており、その太さも大体同様で異様な形をしている。成長の過程で相当庭師の手が入っている。主幹は高さ4.2m、目通り幹周1.2mで東北と西南にのびる主幹は一直線をなし、東北方のものは基部の周りが1.3mで7mほど地上を這ってから斜上して支柱に支えられ、さらに伸長して全長20mにおよぶ。昭和28年2月13日山形県指定天然記念物に指定されている。(山形県森林協会)

謹賀新年

21世紀の緑を美しく  
安らぎと輝きの森林と水を求めて



社団  
法人

山形県林業コンサルタント

理事長 菅原 六郎

山形市松栄一丁目5番41号 TEL (023)647-1800  
FAX (023)647-1801



広げよう 緑をはぐくむ輪

財団  
法人

山形県みどり推進機構

理事長 細野 武司

〒990-2363 山形市大字長谷堂字馬場2265  
TEL (023)688-6633  
FAX (023)688-6634



環境を守ろう

災害に強い県土を  
良質な水の安定供給を  
緑豊かな環境づくりを

森林を育てよう

山村の生活環境の整備を  
森林の恵みの循環利用を

山形県森林土木建設業協会

山形市桜町2-35(林業会館内)  
電話(023)632-3893 FAX(023)632-5454

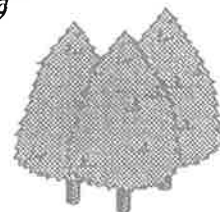


信頼の森林づくり

地域に根ざした豊かな森林をつくります  
いろいろな森林体験ができます

財団法人山形県林業公社

山形市緑町一丁目9番30号  
TEL 023-623-3505







国民の森林・国有林

国民のニーズに対応した  
多様な森林づくりの推進

# 東北森林管理局

〒010-8550 秋田市中通五丁目9-16

## 賀正 緑のアドバイザー



財団法人 **林野弘済会秋田支部** 支部長 石岡 保

〒010-0001 秋田市中通5-9-16  
TEL 018(832)4040 FAX 018(835)6837

山形出張所 所長 渡辺 省三  
〒990-0045 山形市桜町2-35(林業会館4F)  
TEL・FAX 023(641)1024



素	樹材種		材長	品等	1m <sup>3</sup> 当り価格	前月比較	
	スギ小丸太	3.65~4.00m	込		11,700円	-100	
スギ中丸太	//	//		15,900円	-200		
スギ大丸太	//	//		19,000円	-600		
材	米マツ中丸太	6.0m~	普通材	19,100円	-100		
	米マツ大丸太	//	//	23,200円	± 0		
	北洋アカマツ中丸太	3.8~	//	17,300円	-100		
製品	樹材種	厚	幅	長	品等	1m <sup>3</sup> 当り価格	前月比較
	スギ柱	10.5cm	10.5cm	3.00m	特等	60,000円	-200
	米マツ柱	10.5cm	10.5cm	4.00m	//	56,300円	100

木材市況  
(十二月一日現在)

印刷所 渡辺活版所 定価 一部二〇円

森林やまがた1月号 平成14年1月1日発行 通巻第58号

編集 山形県森林協会 山形県

発行 山形県森林協会

〒990-0045 山形市桜町2-35 林業会館内

TEL 023-631-6566 023-622-8823

FAX 023-631-6573

「ゆとり都」森林課ホームページ <http://www.pref.yamagata.jp/ns/shinrin/index.html>  
第53回全国植樹祭ホームページ <http://www.shokujusai-yamagata.jp>